

令和3年度  
決算審査

## 市民にとって住みよい街に！！

～日本共産党奥州市議団、当局を質す～

民報

おうしゅう

読者版

発行  
赤旗奥州出張所  
水沢字久田 62  
Tel 24-2021  
Fax 24-2049

工業団地内の渋滞

(江刺)新工業団地の建設  
で交通渋滞が加速

9月7日から15日までの1週間に渡って行われた奥州市の令和3年度決算審査特別委員会で、共産党市議団は各部門の施策について質しました。具体的な内容についてお知らせします。

千葉敦議員は、江刺地域の新工業団地の整備の影響について質しました。

奥州市を含む北上川流域地域への産業集積が急速に進み、分譲可能工業団地が不足しています。奥州市では、令和6年の分譲開始で新工業団地(江刺フロンティアパークII)の整備を進めています。

千葉議員は、「江刺の工業団地への通勤で、南側から入る江刺病院を通る市道は、朝

夕渋滞が起きている。新工業団地の建設で渋滞が更にひどくなるのではないかと。工業団地への北側からの侵入路や周囲の市道の整備も必要であり、市として大きな課題では」と質しました。

## 住環境整備を検討していく

…市当局

担当部長は、「混雑状況は認識している。江刺フロンティアパークIIは分譲公募で完了した。江刺フロンティアパーク等の新規工場計画等で2200人、江刺フロンティアパークIIで1400人と新規雇用計画が見込まれている。雇用確保のためにも、道路環境を含めた住環境整備、移住定住をすすめる転入者へのインセンティブ付与など、総合対策を市長と協議していく。雇用対策等奥州パッケージというものを作りながら横断的対応をしていく」と述べました。

## 道路環境改善は喫緊の課題では



千葉議員は、「江刺地域ではアパート等住宅建設が増えていく。新住民は工業団地へ通勤するのに、バスがないので車を使う。交通渋滞は加速することが明らかであり、道路環境の改善は喫緊の課題であるのでは」と指摘しました。

## 子どもたちに快適な学習環境を！



佐藤美雪議員は、小、中学校のトイレの洋式化とエアコンの設置状況について質しました。

トイレの洋式化率は、小学校で52.5%、中学校で44.7%となっています。佐藤議員は、「短い休み時間には洋式トイレに集中すると聞く。家庭でも大半が洋式になっている現状に即した対応が必要では」と質しました。

衆議院議員  
高橋千鶴子

10月18日、岩手県住田町と議会の要望書を町議の皆さんが持参、懇談しました。日本共産党の佐々木春一議員(左)はなんと！議会運営委員長だそうです。林崎幸正議員、佐々木信一議員もいわば野党共闘の仲間だと。地域医療体制、飼料・肥料・燃料などの高騰対策、畜産、

## 図書室等のエアコン設置は急ぐべき

急ぐべき

また佐藤議員は、同僚議員が図書室のエアコン設置について一般質問で取り上げた時に教育長が「図書室は校長室のエアコン設置が終わり次第、行う。」と答弁したことに触れ、「子ども達が学習に使う場所にエアコンは必須。何よりも優先すべきでは」と質しました。それに対し教育委員会は、「部屋に滞在する時間を基準に考える。子どもも大切であるが、教職員など学校全体の環境についても責任を持つ立場である」と述べるにとどまりました。

令和3年度一般会計決算認定に反対した日本共産党・瀬川貞清議員の反対討論を裏面に掲載いたしました。

～裏面へ～



水田活用交付金、鳥獣被害など。  
facebook